

## 日産アートアワード2015

### ロンドン(カムデン・アーツ・センター)滞在レポート

毛利 悠子

カムデン・アーツ・センターのスタジオに滞在制作していた際、世界的に知られている現代アートの雑誌『フリーズ』が主催するアートフェア「Frieze London」が開催され、それに合わせてオープン・スタジオを行いました。ここでは、いくつかの構想段階のオブジェを、立体的なドローイングとして発表しました。初日には、Frieze London によるVIP ツアーがスタジオを訪れ、アートコレクターや美術館のディレクター、キュレーターに作品を紹介できる貴重な機会となりました。別日には、音楽家であり批評家のデイヴィッド・トゥープ氏やアーティストのリチャード・ウェントウオース氏、南ロンドンの複合アート施設「ガスワークス」のディレクターなど、錚々たる方達が訪れ、大変有意義なディスカッションを交わすことができました。特に、ウェントウオース氏との対話では、アーティストとしての態度や姿勢、覚悟のようなものを学びました。

滞在中はまた、アーティスト・トークも実施し、アートライターのアグネシュカ・グラツァ氏と、今回制作した作品について「アイデアの流動 (ideas of flux)」「不安定さ (instability)」「実体のないエネルギー (intangible energies)」をキーワードに対話を行いました。

2 ヶ月間のレジデンス・プログラムでは、「カムデン・アーツ・センター」のスタッフによる素晴らしいサポートにより、アート・シーンを牽引する人々と議論ができ、ロンドンだからこそ新たなネットワークを築くことができました。アート関係者に限らず、多くの鑑賞者の方が私の作品に触れる機会を創出してもらい、大変感謝しています。滞在を通して、改めてアーティストとしての態度や姿勢、覚悟のようなものを学ぶことができました。

滞在期間:2016年8月22日-10月20日

# NISSAN ART AWARD



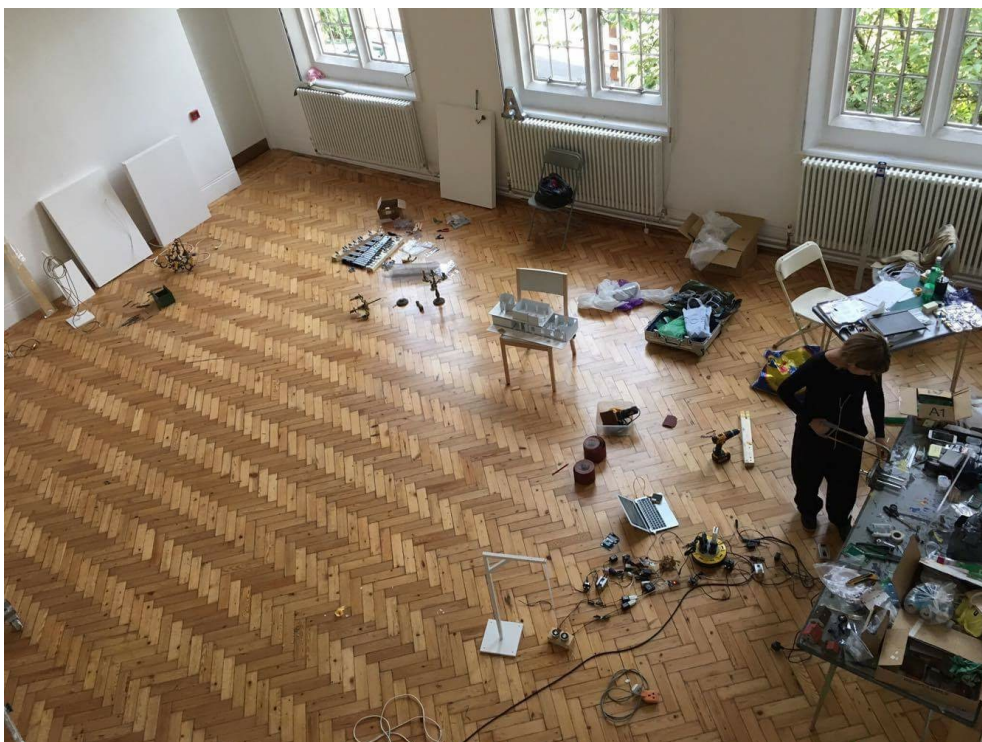
スタジオの様子。カムデン・アーツ・センターに移ったばかり。この広い空間をどうやって使いこなすか、悩んだ。



リチャード・ Wentworth 氏



オープン・スタジオの様子



制作風景 Photo by 近藤亜樹